

親しみやすい自衛隊をPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、5月26日（日）、陸上自衛隊板妻駐屯地（御殿場市）で行われた「板妻駐屯地創立57周年記念行事」に静岡地本広報ブースを開設した。

今回は、同記念行事を訪れた自衛隊に興味のある来場者に「親しみやすい自衛隊を知ってもらおう」をコンセプトに、陸・海・空自衛官の制服や迷彩服を試着してもらったり、「静岡地本営業部長兼応援団長しずぼん」や「一等海尉・駿河葵」などのマスコットキャラクターとそのまま記念撮影ができるように配置を工夫。子供たちが「お父さんと同じ洋服だ」という自衛官の家族や、撮影と同時に「このしずぼん人形持って帰る」とせがむ子供など、多くの家族連れで賑わった。

また、自衛官になるためのコースを紹介するコーナーも設置。大学生から、まずは予備自衛官補の採用制度について質問があったり、アンケートに答えている母親の横で「これがいい！」と特別に用意した自衛隊グッズを選ぶ兄妹など、微笑ましい姿が見受けられた。

静岡地本は、今後も駐屯地記念日や基地祭において「親しみやすい自衛隊」をPRし、任務や活動に対する理解の促進を図るとともに、熱意ある志願者の発掘に邁進していく。

伊東の海フェスで自衛隊の活動をPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、6月1日（土）と2日（日）、伊東市で行われた「サバソニック&アジロックフェスティバル2019」において広報活動を実施した。

自衛隊が同一イベントに参加するのは昨年に引き続き2回目。静岡地本が自衛隊ブースを設置して制服・迷彩服試着体験や自衛官制度説明を行ったほか、伊東港に入港した海上自衛隊輸送艇2号（神奈川県横須賀市）が特別・一般公開を実施。更に陸上自衛隊第1戦車大隊（御殿場市）からは96式装輪装甲車と偵察用オートバイを展示した。

天候にも恵まれ、イベント会場となった伊東市の海岸周辺は、イベント限定Tシャツを着た伊東市民や観光客、同時開催されたコスプレイベントの参加者などで賑わい、自衛隊ブースにも2日間で1000人近くの来場者が足を運んだ。

また、2日（日）午前には、自衛官を目指す高校生等20人を対象とした輸送艇の特別公開を実施。参加者は海自乗員の案内のもと、船体の前部で車両を搭載する車両甲板や初めて目にする通信機器が並ぶ艦橋などを見学し、「この機械はどんなことに使うのですか」「船首が海面まで開きますが、浸水しませんか」と乗員に矢継ぎ早に質問するなどして、海上自衛官の仕事や初めて見た輸送艇の任務について理解を深めていた。

静岡地本は、今後も各部隊と連携して自衛隊の活動をPRし、幅広い年代への理解促進に努めていく。